

講義コード		科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	ジョウキョウニホンゴ II	(フリガナ)	ナカベ ナオユキ
授業科目名	上級日本語II	担当教員名	中部 直之
英文授業科目名	Japanese(advanced level) II		
基準年次(開講期)	3年(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	月2・3限/池袋		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	日本語、書く力、聞く力、話す力		
授業概要・目的	本授業では、大学授業内の発表や就職活動の際に必要なようになってくるであろう発表の聴き取り、発表、質疑応答の練習をするものである。発表における聴き取りや発表を行うためには日本語の基礎的な能力が必要不可欠となってくる。しかし、日本語の知識を単に増やしていくことだけが重要なわけではない。必ず、テクニックというものが必要となってくる。本授業では、そのテクニックを学び、実際に発表することで内容を理解するための予測能力、聴き取りや発表の能力を養っていくことが本授業の目的である。		
到達度評価の評価項目	第一課～第六課 簡単な聴き取りをし、的確にメモすることが出来る。 表現の持つ機能や構成との関係に注意し、聞き手に誤解を生じさせない発表ができる。 第七課～第十一課 自身の能力を正確に理解し、聴き取りや発表、質疑応答の場面で適切な対処ができる。		
授 業 計 画			
第1回	ガイダンス、受講者選抜テスト 授業の進め方について。受講者としてふさわしい能力を持っているかテストを行う。		
第2回	ウォーミングアップ 受講者選抜テストの解説、メモの取り方、コツ、注意点、メモを取る練習を行う。		
第3回	第一課 食中毒 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第4回	第二課 言葉と文化 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第5回	第三課 不登校 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第6回	第四課 高校生とバイク 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第7回	第五課 食料自給率 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第8回	第六課 子供の生活習慣病 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第9回	前半部分までの確認、課題作成 第一回から第八回までの復習後、複数の中からテーマを決めて発表を行う。		
第10回	第七課 少子化①—はじめに— 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第11回	第八課 少子化②—保育サービスの現状と問題点— 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第12回	第九課 少子化③—企業の育児休業制度について— 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第13回	第十課 少子化④—男性の育児に対する考え方と現状— 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第14回	第十一課 少子化⑤—まとめと今後の課題— 2限 使用語句の確認、メモを取りながらの聴き取り 3限 2限に行ったことを元に発表資料を作成する。		
第15回	まとめ、期末試験 第一回から第十四回までの復習後、期末試験を行う。		
教科書・参考書等	犬飼康弘著 「アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック」 スリーエーネットワーク		
授業で使用する機器等	電子辞書等		
予習・復習へのアドバイス	日頃からメモをとる練習をするとともに、人の話に耳を傾ける習慣を身につけておきましょう。		
履修上の注意・受講条件等	日本語能力検定試験N1取得済み、またはN1を受験する予定の者 二時限、三時限と続けて出席出来る者。片方みの受講は認めない。		
成績評価の基準等	以下の三つの観点から総合的に評価する。 1) 授業に取り組む姿勢(10点) 2) 毎時間の課題(30点) 3) 小テスト、期末テスト(各30点)		
メッセージ	二時間連続で出席すること。遅刻は授業開始20分までとする。		
オフィスアワー	なし		
その他	なし		